



奈良町の ちょっといいところを 見て知る秋の1週間

— きたまち・ならまち・高畑・京終・紀寺 —

奈良町見知ル 2023

11/5 SUN ▶ 12 SUN

場所：奈良町一帯

2023年度 事業報告書

きたまち／工場跡事務室



きたまち

ならまち／庚申堂



ならまち

高畑／奈良春日山酒造株式会社



高畑

京終・紀寺／京終駅舎



京終・紀寺

奈良町見知ル実行委員会
奈良市



目次

奈良町のちょっといいところを見て知る秋の1週間 奈良町見知ル 2023

企画趣旨

第1部 奈良町見知ル 開催報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

Newsletter 特別号① 特集：見ル奈良町

Newsletter 特別号② 特集：知ル奈良町

Newsletter 特別号③ 特集：巡ル奈良町

Newsletter 特別号④ 特集：写真集

【資料編】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

来場者／参加者数

知ル・巡ル奈良町参加者アンケート結果

綴って見知ル

第2部 奈良町見知ル 開催までの歩み・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

Newsletter No.10 第1回実行委員会／2023年 4月21日（金）

Newsletter No.11 第2回実行委員会／2023年 5月19日（金）

Newsletter No.12 企画参加者交流会／2023年 6月14日（水）

Newsletter No.13 第3回実行委員会／2023年 6月16日（金）

Newsletter No.14 第4回実行委員会／2023年 7月21日（金）

Newsletter No.15 ボランティア

Newsletter No.16 企画参加者・ボランティア・実行委員交流会
／2023年12月15日（金）

実行委員会等の開催記録

奈良町見知ル 2023 を終えて

企画趣旨

奈良町のちょっといいところを見て知る秋の1週間

奈良町見知ル Naramachi Mishiru2023

奈良町のきたまち、ならまち、高畑、京終では、各エリアの特色を探りつつ、それを「まちの個性」としていかした「まちづくり」が行われています。これらのエリアにある歴史的建造物・社寺・生業の場所といった「地域の宝」となっている「ちょっといいところ」を見て知ることができる「奈良町見知ル」。

このイベントは、多くの人が奈良町の「ちょっといいところ」を知り、地域に足を運びきっかけを作ること、また、そこに暮らす人たちが「まちの魅力」を再発見する機会となること、さらに各エリア相互に「まちの個性」を理解し合うこと、奈良町全体の魅力発信につなげていくことを目的に実施しました。

実施期間

2023年11月5日（日）～12日（日）の8日間

企画内容

- 見ル奈良町 「地域の宝」となっている「ちょっといいところ」の公開
- 知ル奈良町 奈良町の「ちょっといいところ」や各エリアの魅力に触れるイベント
- 巡ル奈良町 奈良町見知ルのスポットを中心に「ちょっといいところ」を巡って楽しむ企画
- 連携企画 奈良町見知ルの期間中や期間前後で行われる企画で、奈良町見知ルの趣旨に関連する企画の広報連携

企画の対象

奈良町（きたまち、ならまち、高畑、京終・紀寺）に所在する歴史的建造物、社寺、生業に関わる場所や展示など

第 1 部

奈良町見知り 開催報告



奈良町見知り実行委員会

Newsletter 特別号①

特集：見ル奈良町

奈良町の人が「ちょっといいな」と思っている場所を、この期間、この時間だけ、特別に公開する見ル奈良町。今年は10カ所、参加3年目の場所もあれば、初めて企画に参加するところも。奈良町を訪れる人だけでなく、地域の中でも「こんなところあったんだあ！」と驚かれる、そんな素敵な場所を見ていただきました。

A 史跡 北山十八間戸



11/11(土)、12(日)の2日間、北山十八間戸の特別公開を実施。計145名の方々にお越しいただきました。

観光客の方だけでなく、「近所に住んでいるけど、中を見たことがなくてずっと気になっていた」という理由で、近隣の方も多くお越しになりました。実際に見学いただく中で「いつ頃まで建物は使われていたのか?」「改修はされているのか?」といった質問も多々いただき、来場者の皆様の興味・関心の高さを感じられる2日間でした。

(奈良県 文化財保存課 寺西 勇輝)

B 五劫院



今年初めて奈良町見知りへ企画参加していただきました。同じきたまちエリアの北山十八間戸、旧細田家住宅と合わせて11/11(土)、12(日)のみの特別公開となりました。

ご本尊・木造五劫思惟阿弥陀如来坐像(鎌倉時代・重要文化財)は、螺髪が長く伸びた独特の髪型が特徴で、「前から一度お参りしたかった」という方が多く来られました。実際に拝観すると、かわいらしいお顔に気付き、感動する声も。御朱印のため、お寺の方も本堂にいて下さり、ハンドアウトに掲載した内容よりもっと深く知りたい方にも対応していただけたのは大変ありがたいことでした。ほぼお向かいにある旧細田家住宅とセットで見学できることで、ちょっとオトクな気持ちになってもらえたのでは、と思います。(実行委員 倉橋みどり)

C 奈良県指定有形文化財 旧細田家住宅



「なつかしいわあ〜」見学の方から、こんな声をいただくことがよくあります。竈の火の番をしていたとか、小さい頃こんな牛小屋を見たとか、祖母の家が土間だったとか…。今回も、たくさんの方の大切な思い出をお聞きました。

草葺の屋根、広い土間の竈、牛小屋、煤竹の天井、畳の部屋。たくさん見どころがあって、訪れた人をどこかあたたかい気持ちにさせてくれる、そんな建物だなあと感じた2日間でした。

(奈良市教育委員会 文化財課 中村 咲子)



D 登録有形文化財 佐笠家住宅



三日間で250名余りの大勢の方々にご参加いただきました。主に60歳以降の高齢のご夫婦が多かったように見受けられます。

刀剣の展示と刀剣グッズを販売している店ですが、刀剣にご興味の無い方には入りにくいようですので、今回のイベントがあれば入り易かったように思います。入り口近くの坪庭を公開したので、もっと奥まで見学したいとの希望もありましたが、防犯や管理上の問題で、な

なかご期待に添えないのが現状です。いつもながら来られた皆様は、ご熱心に見学していただいたのが印象的でした。改善点としては、午前から来られた方もいらっしゃるのと、集中するのを避けるためにも午前と午後に分けての公開も良いかなと思っています。(ならまち刀剣ショップ杜園 佐笠 好英)

E 重要文化財 藤岡家住宅

あいにくの雨となりましたが、当主の藤岡忠明さんも表に立って家のことや生業の事など、解説したり、質問に答えたりしていただきました。今年で3回目、藤岡さんの話を横から聞いているだけで、文化財建造物の保存の大変さや活用について改めて考えさせられました。

(奈良町座 林 啓文)



F 法徳寺



見知ルとお寺からのご案内などをお渡したり、毘沙門天以外にも弁財天像などを近くで拝見できることをお伝えしたりしましたが、私たちよりも来られるの方がよく知っている方が多かったです。新幹線でこの日に合わせて来られる方もいらっしゃるって、本当に貴重な機会なんだと再認識させて頂きました。

観光地ど真ん中なのに、ならまちの人達の人柄なのかもですが、歴史も文化価値もあるお寺がとても身近な感じがしました。

(ボランティア 前川 あけみ)

ご住職の由緒案内と共に印象的だったのは、毘沙門天立像を目指して来た方がおられた事です。毘沙門堂のお堂の中でじっくり見る事ができ、喜びの声を沢山頂く事が出来ました。

地域の方にも慕われ、末永く続いて欲しいと感じました。

(ボランティア 滝井 敏弘)

G 重要文化財 今西家書院

奈良町見知り、2回目の参加です。今年は、期間中に歴史講座2日と書道展を1日開催しました。お客様は歴史講座では熱心にメモをとりながら受講され、書道展では6畳2間に広げた巻物をくるくると動かしながら長いお話を読んでおられました。いつもは庭や静寂さを楽しむ場ですが、ワークスペースのような動きの場ができました。初日と最終日と紅葉の移ろいもみられました。シールラリーや案内所など施設巡回の支援は有難かったです。本年も大変お世話になりました。

(今西家書院 今西 靖子)



H 庚申堂



当町内の庚申堂は、正月三が日・初庚申・地蔵盆・毎月一回23日に厨子を開扉していますが、この日以外にも見せて欲しいと周囲から要望あります。

そこで、今回、奈良町の観光振興に協力しようと見知りで公開に踏み切りました。初めての試みなので、前の戸は閉めた状態で、格子越しに三体の仏像を見学してもらうことになりました。期間中に町内の方が案内人として居るのは難しく、自治会長と私が任せ、時間があれば見学の方の対応をしていました。いろいろな人が来て下さって、仏像のことよりも庚申信仰とそれにまつわる民俗の話のほうが賑わいました。もう少し資料を纏めての対応が必要だったとも思いました。

(奈良まちづくりセンター・西新屋町住民 勝野一)

青面金剛と庚申さんの関係が不勉強で、当日、担当のメンバーでググって即席に学びました。予想外に地元の方やならまち常連さんの来訪が多く、「しゅっちゅう前を通っているけど、扉の中を見たことなかった」という声を多く聞きました。“地元の人たちに愛されてきた”をアピールするために“こんにゃく鍋のふるまい”の写真を使わせていただけたら良かったと思いました。

(ボランティア 徳永 かよ子)

I 奈良県指定有形文化財 志賀直哉旧居 (奈良学園セミナーハウス)



期間中、特別に書斎の椅子に座れ、志賀直哉気分で楽しむ景色に中央の食堂での特別映像、旧居の歴史や営みをより深く感じる機会になっていました。

サンルームには書斎をモチーフにしたメッセージボードを置き、感想や思いを書き綴れるようにしましたが、声かけを行うというような訪れた方へ積極的な参加を促す工夫をもっとできたのではと反省。次回に向けて考えていきたいと思えます。

(実行委員 「学生団体あそぶなら」川頭 史空)

インフォメーションブース



J・6 登録有形文化財 吉岡家住宅 / 登録有形文化財の町家で過ごすひととき (京終やまぼうし)



店舗として使っているこの建物の、建築物としての特徴をまずご紹介。ここで暮らしていた昔の住人(藤井家)の生活道具を見ていただいたり、ゆかりの人物 谷井友三郎(旧姓 藤井)氏についてもご紹介しました。

皆さんが活発に質問してくださったので、その質問に導かれるように説明することができて私たちとしてはありがたかったです。

今回初めての試みとして、自由に見学できる時間帯を設けてみました。新聞掲載の反響はとても大きかったです。想像以上にたくさんの方にご来場いただきました。届いてほしい人のところにイベントの告知が届くよう、宣伝の媒体選びは大切だと思います。

(京終やまぼうし/吉岡家住宅 吉岡 卓也 幸子)



奈良町見知り開幕祭 11/5(SUN)



奈良町見知りのイベントは、それぞれの施設で活動するため、期間中にメンバーが顔を合わせる機会がありません。

そのため、今年は開幕祭を開催。それぞれのエリアから企画に参加する皆さんが集結し、エリアの魅力や魅力を伝え合う機会を設けました。少しずつ、理解しあい、大切にしたいものを共有していきたいです。



Information center

ここでは、ならまちの拠点としてたくさんの方が地図を手にとっていかれました。館内に入らなくても、扉外に置いた地図を手に取り、物語館から奈良町にぎわいの家あたりで地図を見る方が多いようです。

海外からのお客様も少なくなく、物語館自体の説明が英文では用意がなかったので、「Hello, please ~!」で終わってしまったのが残念でした。また、不勉強で「元興寺の広大な敷地が今、ならまちといわれるエリアで、この場所は奈良時代の金堂の基壇の上という稀な場所なのです!」なんて、なげなしの知識で説明するしかなく申し訳ないです。

(ボランティア 徳永かよ子)

シールを集めた参加者に記念品をお渡ししたのですが、お

客様の熱量に比例する記念品をお渡ししたかったと言うのが、率直な思いです。

また外国のお客様には、何年前の建物で、何をしていたのかも分からず案内ブースの建物自体が盲点だったと気がきました。

(ボランティア 須川千恵子)

インフォメーションブースで来訪された方との交流はとても有意義でした。奈良に関心のある方が多く、奈良出身である私も嬉しかったです。その交流を通じて奈良っていいなあと思えて、より好きになりました。

ご迷惑をおかけする場面も多かったのですが、参加させて頂きありがとうございました。とても楽しい1週間でした。

(ボランティア 古谷雅)



奈良町見知り実行委員会

Newsletter 特別号②

特集：知ル奈良町

奈良町の「ちょっといいところ」をより深く知ってもらうイベント、知ル奈良町。今年は、建物だけでなく、食べ物や昔のならまちのお話など、バリエーション豊かに開催！直接、奈良町の人と触れあうことができるのもこの企画の良いところ。多くの人に「奈良町っていいな」と感じていただきました。

1 大正時代の工場跡 元大学教授がご案内！産業遺産ガイド 早起き！産業遺産ガイド / 工場跡事務室



工場跡の産業遺産ガイドには今年も地元の方のみならず、関東方面からも参加いただきました。

まだまだ整備途上なのですが、現存する設備類に解説を加えることで、参加いただいた皆さまには場所の雰囲気含めて楽しんでいただけたものと思います。

暗くなってからの工場建物も照明で設備類が「萌えて」なかなか良かったです。

(工場跡 喜多 和夫)

2 落語館館長のならまちこぼれ話 「昭和のならまち暮らしはちょっと変!？」

美味しいお酒をちびちびいただきながら、昭和の奈良町暮らしや生業、文化の話に「あの頃はそれが当たり前だったよなあ」と懐かしんだり、「そんなことがあったの？」と驚いたり、和やかな雰囲気ですぐすすみ、終盤にかけて館長の話は最高潮に。一緒にたくさん笑って、そこからあっという間に時間が経ちました。

一方、タイトルから落語を期待していたのでは？という方もいたので反省。昭和の暮らしに慣れ親しんでいる年代の方には、館長自身の経験をたくさん話してもらったり、質問できるようにしたりすれば、よりアットホームな雰囲気になっただろうなと思いました。

(実行委員 川頭 史空)



3 奈良名物きな粉雑煮・朴葉ご飯とお話 / 旅籠長谷川



春日山の麓、柳生街道沿いの旅籠長谷川で、優しい語り口のご主人からお餅を取り出してきな粉につけて食べるお雑煮の話、高畑と柳生の関わりを教えていただきました。

遠くに聞こえるお餅を焼く音に期待が高まったところで「さあ、どうぞ」と出された、お雑煮ときな粉、山椒やジャコがかかった朴葉ご飯。そのほか小鉢にフライ、卵焼き、デザートでテーブルはいっぱいに。あまじょっぱいお餅を食べながら他のお客さんと地元のお雑煮話で盛り上がり、楽しい時間があっという間に過ぎていきました。

(実行委員 田中 梨絵)

4 ステキに撮ろう！秋の高畑／入江泰吉記念奈良市写真美術館

「写真を撮ることを通して、高畑の魅力を発見してみよう」というテーマで、入江泰吉記念奈良市写真美術館にも協力いただき、今年初めて実施した企画です。撮影は気軽にスマホでOKとしました。

まず、同館研究員・兼古健悟さんから「よい写真を撮るコツ」（1枚の写真に盛り込むふたつに絞る・主役と脇役に振り分け、主役の魅力を生かすように構図を考える・とにかく1つの場面をたくさん撮ってみるなど）のミニレクチャーを受け、約1時間の撮影タイムで、ひとり3点の作品を提出。参加者が7人と少なかつたこともあり、1点ずつ丁寧に講評をいただき、大満足でした。なお、講評は、Instagramに「#奈良町見知り2023」「#見知り高畑写真講座2023」を付けて投稿。講師も参加者も自分のスマホを見ながら講評を聞く、という方法で行いました。優秀作品の展示については検討中です。（実行委員 倉橋みどり）



5 奈良町のお酒を愉しもう／奈良春日山酒造株式会社



11名の参加者の予定でしたが、少し増えて75名で定刻にスタートしました。簡単な日本酒造りの説明から始めたのですが、私の説明がグダグダになってしまったため早々に試飲会に突入。

色々なお酒を飲んでいただきながら質問にお答えするという流れが良かったのか会話が弾み、皆様に本当に愉しんでいただけたと感じました。最後には「いつも飲んでいます」「どこで買えるのですか」「また来ますね」などのお声もいただき、私自身にとっても非常に楽しいひとときでした。

（奈良春日山酒造株式会社 森一成）

7 レンガ造りの醤油蔵 醤油の製造現場特別ガイド／イゲタ醤油（株）井上本店

すっかり「秋の風物詩」になりつつある奈良町見知り。

各地の街に興味を持つ人達へアプローチし、単なる観光ではない地域に根差した文化・産業を紹介し、触れ合うきっかけを作り出しています。

弊社として、このイベントが日本人にとって余りにも身近過ぎる調味料である醤油・味噌に改めて向き合うきっかけとなってくれる事を期待しています。

（イゲタ醤油・五徳味噌醸造元
（株）井上本店 吉川 修）



8 コミュニティ駅長さんの京終駅舎案内・コールドックのKちゃんも参加



毎年恒例となっている京終駅コミュニティ駅長・丸山さんによる京終駅ガイド。

今年はスペシャルゲストとしてならまのアイドル・コールドックのKちゃん、助岡JR奈良駅長、高田芸術高校音楽科の皆様にもお越しいただきました。まずはKちゃんに京終駅一日駅長委嘱式を行った後、高田芸術高等学校の皆様による演奏で盛り上げていただき、最後に丸山コミュニティ駅長の京終駅舎の歴史案内で締めくくりました。Kちゃんを一目見ようと数多くの方が来てくださいました。

（奈良市奈良町にぎわい課 黒野 安希子）



奈良町見知り実行委員会

Newsletter 特別号③

特集：巡ル奈良町

奈良町にある「ちょっといい」場所を巡るツアー、巡ル奈良町。1年目、2年目と知ル奈良町の中で実施してきましたが、今年初めて個別の企画になりました。複数の場所を、一つのテーマで巡ることによって出てくる「新しい奈良町の楽しみ方」をご紹介します。点と点を結ぶことで改めて奈良町の奥深さを知っていただきました。

い まちかど博物館ツアー／きたまち編



お天気も恵まれ楽しいまちあるきができました。奈良豆比古神社、西福寺、鹿せんべいの武田商店、植村牧場をのんびりとめぐりました。今回、奈良豆比古神社の辰己眞一さんに紹介いただき、神社に隣接する西福寺で通常非公開の仏像を拝観することができました。参加者もスタッフも「初めて!」「すばらしい」と感激の美仏でした。案内役は、ボランティアガイドの経験豊富ななべかつの浅原昭さん・榎本光博さん。なべかつの吉田守さん、ボランティアの小竹豊子さん、きたまちコンソートの石井直子さんがサポートしてくださいました。(実行委員 倉橋みどり)

ろ まちかど博物館ツアー／ならまち編

最初に訪れたのは「ホテル尾花」。館長さんにかつてこの場所にあった劇場・映画館「尾花座」についてお話しいただきました。その後、猿沢池からもちいどの、南市町界隈を散策しながら「元林院写真ギャラリー」へ。かつての元林院界隈の写真を、館長さんによる説明を聞きながら見学しました。参加者の方々は猿沢池界隈のかつての様子に興味津々な様子で、二時間のまちあるきツアーでは少し時間が足りないくらいでした。

(奈良市奈良町にぎわい課 黒野 安希子)

印象深かったホテル尾花。過去に劇場だった頃の貴重なお話に、奈良町を代表する観光ホテルのもう一つの顔を知る貴重な時間でした。当時をご存じの参加者様もいっしょになって、昔を懐かしんでおられました。

今回このツアーで、いつも歩いている奈良町の歴史に触れ、これからそこに暮らしていた人々の姿を思い浮かべながらもっと注意深く建物や橋を観察してみたいと思いました。ボランティアスタッフとしては少ししかお役に立てませんが、参加してみても楽しかったです。

(ボランティア 川島 典子)



は 中将姫ゆかりの寺院をたずねる ／高林寺・誕生寺・徳融寺



奈良時代の伝説の女性、中将姫は、ならまちで生まれ育ったとされます。ゆかりの寺院を訪ねるツアーを、2021年から3年連続で開催しています。

今年はず年の誕生寺、徳融寺に加え、高林寺の三ヶ寺の拝観で、すべてふだんは非公開の寺院のためか、定員10人は満員御礼となりました。産湯の井戸(誕生寺)、父・藤原豊成の墓と伝わる古墳(高林寺)、虚空の崖(徳融寺)などに加え、それぞれのお寺でご住職やお坊様から直に中将姫への思いをうかがうことができたことに、案内役の私も大感激しました。

(実行委員 倉橋みどり)

に 町名由来板を巡る



奈良町の町名には元興寺にゆかりのもの、伝説につながるもの、読みにくいものなどいわゆる「面白い」ものが多くあります。由来を掘り起こし、町をよりよく知るために奈良町座として町名由来板を町々に設置することに取り組んでいます。現在、21町内に設置しています。

今回は元興寺の築地塀のあった範囲の由来板巡るツアーを3日間行い、講師となった奈良町座の会員も参加者の皆さんと一緒に楽しみました。

(奈良町座 林啓文)

ほ 元興寺の礎石を訪ねて ～ならまちに眠る古代の遺跡～



奈良町物語館から奈良市史料保存館を回り、世界遺産の真言律宗元興寺では同寺文化財管理室の高橋平明さんの解説で国宝本堂の床下に残る奈良時代の旧僧房の礎石を特別に見学。参加者は礎石が示す当時の地表が今よりだいぶ低かったのに驚いていました。華嚴宗元興寺の五重塔跡が諸事情により見学できなかったことは残念でした。A5判4ページの説明資料を配り、参考にしてもらいました。

(奈良まちづくりセンター 清水和彦)

少人数精鋭の“礎石マニア”の参加者の皆さんで、若干、皆さんのお話についていけませんでしたが、礎石めぐりは興味深く、石の種類の違いについてもプラタモリのごとく解き明かされました。元興寺の床下を開けていただけたことは想定外で、「これが奈良時代の地面です」とは、奈良、スゴすぎです。

(ボランティア 徳永かよ子)

へ 柳生街道 高畑ツアー／今西家書院・不空院他

高畑に点在する魅力的な場所を、地域の方に解説してもらい巡りました。参加者の皆様はどの場所でも熱心に聞き入り「前は通ったことがあるのに初めて知った所ばかり。良かった！」といった声も。丁寧な解説に恵まれ盛り沢山の内容となりました。締めめの「らくさろん」のランチでは参加者同士の交流も。「奈良町で高畑が一番好き。こんなツアーを待っていました。」と、高畑の“ちょっといいところ”はとて魅力的なのだそうです。

(高畑住民 松岡美希)



と 大学生がご案内！京終エリアの見ル・知ル・巡ル ／京終やまぼうし・ゲストハウスならまち他



人と人、人と地域をつなぐ目的で行った学生ガイド。京終に来たばかりの夫婦や、近所だけ巡る機会のなかった人たちが集まりました。学生も含め誰もが緊張の面持ちでしたが、京終やまぼうしでは会話も増え、皆で質問攻め。ゲストハウスならまちで昔ながらの蚊帳の大きさに驚き、井上本店でクイズに一発で正解したりと、ゆるやかに皆でつながっていき、最後に京終の記憶をお土産のチエキとともに笑顔で持って帰っていただきました。

(天理大学生涯教育専攻2回生 門内 緋里)



奈良町見知り実行委員会

Newsletter 特別号④

特集：写真集





【資料編】

奈良町見知り 来場者／参加者数

延べ 3,067 人

見ル・知ル・巡ル参加者数 2,030 人
インフォメーションブース 1,037 人

見ル奈良町



C 奈良県指定有形文化財 旧細田家住宅

11/11⑤・12⑥
9時～16時
見学無料

奈良町最古、築300年の農家住宅です。草葺の屋根、屋内の牛小屋やかまどなど、町家とは一味違う農家建築を見学できます。

奈良市雑司町40-3
アクセス：近鉄奈良駅からバスで「今在家」下車徒歩5分。

196 人

D 登録有形文化財 佐笠家住宅

11/10⑤・11⑥・12⑥
13時～16時
見学無料

奈良の伝統工芸一刀彫で知られる森川社園が建てたと伝わる町家です。その一角にある坪庭を見学できます。

奈良市中新屋町9
アクセス：近鉄奈良駅から徒歩15分

252 人

A 史跡 北山十八間戸

11/11⑤・12⑥
9時～16時
見学無料

鎌倉時代にはじまるハンセン病患者救済施設で、わが国の慈善事業の先駆けとなる遺産です。特別に内部を公開します。

奈良市川上町454
アクセス：近鉄奈良駅からバスで「今在家」下車徒歩5分

145 人

B 五劫院

11/11⑤・12⑥
14時～16時
拝観料：志納

宋から伝わったという、こんもりとした頭部が印象的な本尊・五劫思惟阿彌陀像（鎌倉時代・重要文化財）を拝観できます。

奈良市北御門町24
アクセス：近鉄奈良駅からバスで「今在家」下車徒歩5分

84 人

G 重要文化財 今西家書院

11/5⑤・12⑥
10時30分～16時
入館料：400円

+400円で見知りいっぴく（酒香茶・小菓子）

室町時代の書院造を案内付で見学できます。昭和を代表する庭園研究家森羅（もりおさむ）が携わった庭園も必見です。11/5と11/12は歴史講座、11/9は書道展を同時開催。

奈良市福智院町24-3
アクセス：近鉄奈良駅から徒歩20分、近鉄奈良駅からバスで「福智院」下車徒歩3分

178 人

H 庚申堂

11/11⑤・12⑥
9時～16時
見学無料

西新屋町の会所を兼ねる庚申堂では青面金剛、地藏菩薩、吉祥天女の三体を祀っています。正月三日が日と初庚申・地藏堂に開扉している三体を特別に見ることが出来ます。※案内撮影禁止

奈良市西新屋町40-2
アクセス：近鉄奈良駅から徒歩15分

380 人

I 奈良県指定有形文化財 志賀直哉旧居

11/5⑤・12⑥
9時30分～17時30分
見学料：350円

志賀直哉が設計し家族と暮らした旧居。暗夜行路を書き上げた書斎や文人墨客が集った高畑サロンの雰囲気や五感で味わって下さい。館内で直哉関連映像を放映予定。

奈良市高畑町1237-2
アクセス：近鉄奈良駅からバスで「破石町」下車徒歩5分

340 人

J 登録有形文化財 吉岡家住宅

11/5⑤・6⑥
15時～17時
見学無料

奈良の興行師・谷井友三郎ゆかりの町家を見学できます。※飲食のご提供はありません

奈良市北宮町17
アクセス：JR京終駅から徒歩5分

36 人

巡ル奈良町



い まちかど博物館ツアー
きたまち編

11/8③
10時～12時30分/
10時集合
参加費：1,500円
(拝観料・見学料含む)

きたまちのまちかど博物館3か所（奈良豆比古神社資料館・鹿せんべいの武田商店・植村牧場）と西福寺を特別拝観するツアーです。

集合場所：奈良市きたまち観音門観光案内所／奈良市手貝町／奈良交通バスで「手貝町」下車徒歩2分
解散場所：北山十八間戸／奈良市川上町
予約申込（11月5日17時まで）：奈良町見知り公式サイトから
定員20人 <https://naramachimishiru.jimdofree.com/>

8 人

ろ まちかど博物館ツアー
ならまち編

11/7③
10時～12時/
10時集合
参加費：無料

元興寺周辺とは一味違う猿沢池周辺のまちなみを楽しみながらならまちまちかど博物館を巡り、かつての劇場や花街の姿にふれるツアーです。

集合場所・解散場所：ならまちセンター前広場／奈良市東寺林町／近鉄奈良駅から徒歩12分
予約申込（11月2日17時まで）：奈良町見知り公式サイトから 定員8人
<https://naramachimishiru.jimdofree.com/>

7 人

は 中将姫ゆかりの寺院をたずねる/
高林寺・誕生寺・徳融寺

11/10③
10時～12時30分/
開始5分前集合
参加費：2,500円
(拝観料・資料代込み)

奈良時代の伝説の女性・中将姫はならまちで生まれ育ったといわれています。中将姫の父・藤原豊成公の邸宅跡に建立された三寺院を特別拝観します。
※徳融寺の御朱印付き

集合場所：奈良町南観光案内所前／奈良市井上町11／近鉄奈良駅からバスで「井上町」下車すぐ
解散場所：徳融寺／奈良市南町125
予約申込（11月8日24時まで）：NPO法人文化創造アルカに「希望の日時、申込者、同行者氏名・電話番号」を明記のうえメール arcainfo@arcainfo-nara.jp 定員10人

10 人

に 町名由来板を巡ル

11/8③
10⑤・12⑥
10時～11時30分/
開始5分前集合
参加費：500円

約40年の歴史を持つまちおこし団体、奈良町座のメンバーが町名由来板を紹介しながらならまちをご案内します。

集合場所・解散場所：奈良町博物館／奈良市中新屋町2-1
近鉄奈良駅から徒歩15分
予約申込（11月2日17時まで）：奈良町見知り公式サイトから 定員各日10人
<https://naramachimishiru.jimdofree.com/>

9 人

は 元興寺の礎石を訪ねる
～ならまちに眠る古代の遺跡～

11/11⑤
13時30分～15時/
開始5分前集合
参加費：800円
(世界遺産元興寺拝観料を含む)

元興寺の伽藍があったならまちに残る堂塔の礎石を訪ね、往時の姿と古代からの歴史をたどりまします。※元興寺礎石の絵はがきのおみやげつき

集合場所：奈良町博物館／奈良市中新屋町2-1／近鉄奈良駅から徒歩15分 解散場所：世界遺産元興寺／奈良市中院町11 予約申込（11月4日17時まで）：奈良町見知り公式サイトから 定員15人
<https://naramachimishiru.jimdofree.com/>

5 人

へ 柳生街道 高畑ツアー（ランチ付き）/
今西家書院・藤岡家住宅・不空院他

11/9③
10時～12時30分
参加費：2,800円
(拝観料等含む)

歴史を感じる柳生街道を歩きながら高畑のおすすめスポットを訪ね、比賣神社にまつわるお話を聞きます。カフェ「ろくさろん」でピラフセットのランチ付き。

集合場所：名勝大乗院庭園文化館／奈良市高畑町1083-1
奈良交通バス「福智院町」下車徒歩すぐ
解散場所：カフェ「ろくさろん」高畑町1359-1
予約申込（11月7日17時まで）：奈良町見知り公式サイトから 定員10人
<https://naramachimishiru.jimdofree.com/>

5 人

と 大学生がご案内！京終エリアの見ル・知ル・巡ル/
京終やまぼし・グストハウスならまち他
(お土産つき)

11/8③
13時30分～15時30分/
13時20分集合
参加費：300円

京終エリアのちょっと良いところを大学生がご案内！地元の情報盛りだくさん。ご案内を愉しもう！

集合場所・解散場所：JR京終駅待合室／奈良市南宮町204-3 近鉄奈良駅から徒歩5分
予約申込（11月7日12時まで）：奈良町見知り公式サイトから 定員8人
<https://naramachimishiru.jimdofree.com/>

7 人

知ル奈良町



1 大正時代の「工場跡」
a) 元大学教授が案内！産業遺産ガイド（ドリンク付き）/工場跡事務室
11/11
①13時～14時30分
12時50分開会
②15時30分～17時
15時20分開会
参加費：1,450円
産業経済学の専門家である二階堂達郎先生が、時代背景や当時の設備などを中心に工場跡を案内します。
開催場所：工場跡事務室 奈良市東区町443 近鉄奈良駅から徒歩15分、近鉄奈良駅からバスで「今小国」下車徒歩2分
予約申込（11月10日17時まで）：工場跡事務室HPのshopページから、または、「希望のコース・日時、申込者・同行者の氏名、電話番号」を明記のうえメール（kako@shop443.com）へ、電話（0742-22-2219）へ電話はオフ営業時間のみ対応：各回定員10人程度
https://www.kojisho.jp

大正時代の「工場跡」
b) 早起き！産業遺産ガイド（ランチ付き）/工場跡事務室
11/12
9時30分～11時30分
9時20分開会
参加費：2,250円
工場跡建物内を主宰者がいないに案内し、カフェ工場跡事務室おすすめの「朝のセットメニュー」をお楽しみいただけます。
開催場所：工場跡事務室 奈良市東区町443 近鉄奈良駅から徒歩15分、近鉄奈良駅からバスで「今小国」下車徒歩2分
予約申込（11月10日17時まで）：工場跡事務室HPのshopページから、または、「希望のコース・日時、申込者・同行者の氏名、電話番号」を明記のうえメール（kako@shop443.com）へ、電話（0742-22-2219）へ電話はオフ営業時間のみ対応：各回定員10人程度
https://www.kojisho.jp

8人

7人

2 落語館館長のならまちこぼれ話「昭和のならまち暮らしはちょっと変!」
11/9
17時～18時
16時45分開会
参加費：500円
（奈良町のお酒の試飲付き）
ならまちに生まれ育った落語館館長から、「昭和のならまち暮らし」をお酒と共にのおもしろおかしく聞く会です。*20歳未満の方およびお酒をお越しの方はお酒の試飲ができません
開催場所：奈良町物語館 / 奈良市中新屋町2-1 / 近鉄奈良駅から徒歩15分
予約申込（11月2日17時まで）：奈良町見知り公式サイトから / 定員15人 https://naramachishirujimodfree.com/

8人

3 奈良名物きな粉雑煮・朴葉ご飯とお話（ランチ付き）/旅籠長谷川
11/6
8時～10時
11時30分～13時30分
いずれも開場5分前集合
参加費：1,500円
高畑や柳生街道の歴史のお話ときな粉雑煮・朴葉ご飯がついた旅籠長谷川オリジナルランチセットを味わいます。
開催場所：旅籠長谷川 / 奈良市高畑町1474 / 近鉄奈良駅からバスで「碓石町」下車徒歩15分
予約申込（開催日2日前の17時まで）：電話0742-26-7766 / 定員20人（最少催行人員2人）

24人

4 ステキに撮ろう！秋の高畑 / 入江泰吉記念奈良市写真美術館
11/5
10時～12時30分
10時45分開会
参加費：2,000円
写真美術館観覧券2枚付き
入江泰吉記念奈良市写真美術館で「秋の高畑」をステキに撮るコツをレクチャー。各自で秋の高畑を撮影した後、コメント会を行います。優秀作品は後日同館で展示。
開催場所：入江泰吉記念奈良市写真美術館 / 奈良市高畑町604 / JR近鉄奈良駅からバスで「碓石町」下車徒歩15分
予約申込（11月1日17時まで）：奈良町見知り公式サイトから / 定員20人
https://naramachishirujimodfree.com/

7人

5 奈良町のお酒を愉しもう / 奈良春日山酒造株式会社
11/12
14時～15時
14時5分開会
参加費：無料
世界遺産「春日山原始林」の山麓にある伝統ある酒蔵で、日本酒・梅酒・焼酎等いろいろなお酒の試飲が楽しめます。*改装中のため蔵の見学はできません
開催場所：奈良春日山酒造株式会社 / 奈良市高畑町915 / 近鉄奈良駅からバスで「碓石町」下車徒歩5分
予約申込（11月2日17時まで）：奈良町見知り公式サイトから / 定員10人
https://naramachishirujimodfree.com/

15人

6 登録有形文化財の町家で過ごすひととき（ドリンク・軽食・焼菓子付き）/京終やまぼうし
11/5日・6月
①午前の部10:00～11:30
②午後の部13:00～14:30
いずれも開場5分前集合
参加費：700円
奈良町家を見学後（普段非公開の2階部分も公開）、京終やまぼうしの軽食（午前の部）/焼菓子（午後の部）と飲み物でおくろぎください。
開催場所：京終やまぼうし / 奈良市北宮町17 / JR京終駅から徒歩5分、近鉄奈良駅からバスで「北宮町」下車徒歩3分
予約申込（10月28日17時まで）：京終やまぼうしに「希望の日時、申込者・同行者氏名、電話番号」を明記のうえメール（kyobate.yamaboshi@gmail.com）へ各回定員8人

23人

7 レンガ造りのく醤油蔵 / 醤油の製造現場特別ガイド（お土産付き） / イゲタ醤油（株）井上本店
11/10
10時30分～11時30分 / 10時20分開会
参加費：500円
レンガ造りの蔵で醤油ができるまでの工程を順に解説付きで案内します。観る、香る、煮わうなど五感で学ぶガイドです。
開催場所：井上本店 / 奈良市北宮町57 / JR京終駅から徒歩3分、近鉄奈良駅からバスで「北宮町」下車徒歩3分
予約申込（定員になり次第受付終了）：電話0742-22-2501 / 定員15人

15人

8 コミュニティ駅長さんの京終駅舎案内 / コールダックのKちゃんも参加（お土産付き） / 京終駅舎・駅前広場
11/6
13時～14時
13時5分開会
参加費：無料
コミュニティ駅長の丸山清文さんがJR京終駅舎の今と昔をご案内！コールダックのKちゃんも参加。高円芸術高等学校音楽科の生徒たちによる演奏もお楽しみいただけます。
開催場所：JR京終駅舎待合 / 奈良市南宮町204-3 / JR京終駅改札を出てすぐ
予約申込（11月2日12時まで）：奈良町見知り公式サイトから / 定員20人
https://naramachishirujimodfree.com/

17人

インフォメーションブース
11/5(日)～12(日)
10:00～16:00
奈良町物語館
来場者 1,037人

奈良町見知り開幕祭

11/5
①第1部19:00～19:30
②第2部19:30～21:00
参加費：第1部のみ500円（オリジナル見知りグッズセットのお土産つき）
第1部・第2部共通3,000円
企画の魅力を徹底紹介！見て、知って、つながろう！

第1部：オープニングショー
奈良町の「ちょっといいところ」の関係者が勢揃いし奈良町見知りの魅力を徹底的にご紹介します

第2部：レセプションパーティー
※希望者のみ 軽食やドリンク（アルコールもあり）を飲みながら参加者同士で交流を深めます。

開催場所：奈良町物語館 / 奈良市中新屋町2-1 / 近鉄奈良駅から徒歩15分
予約申込（11月2日17時まで）：奈良町見知り公式サイトから / 定員10人
https://naramachishirujimodfree.com/

第1部 33人
第2部 30人

シールラリー参加人数 144人

シールを集めて、「ちょっといいもの」ゲット！
シールを貼って、インフォメーションブースへお越しください。

奈良町見知り シールラリー

奈良町の「ちょっといいところ」を見て知れ秋の1週間
奈良町見知り

奈良町の「ちょっといいところ」を見て知れ秋の1週間
奈良町見知り

奈良町の「ちょっといいところ」を見て知れ秋の1週間
奈良町見知り

奈良町の「ちょっといいところ」を見て知れ秋の1週間
奈良町見知り

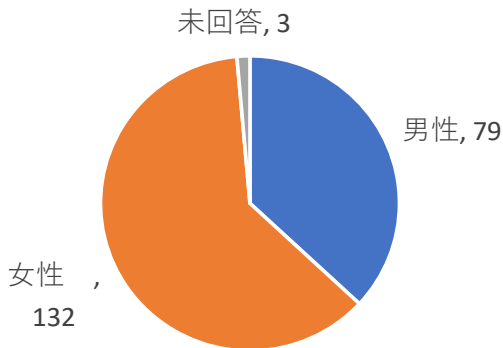
知ル・巡ル奈良町参加者アンケート結果

回答者数 214人

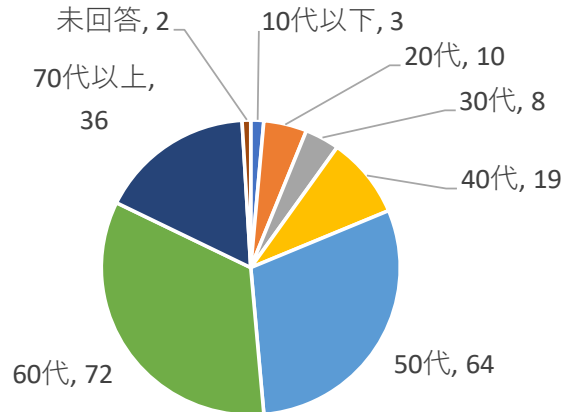
回答者数内訳

| | |
|---|----|
| 元大学教授が案内！産業遺産ガイド／工場跡事務室 | 8 |
| 早起き！産業遺産ガイド／工場跡事務室 | 7 |
| 落語館館長のならまちこぼれ話 「昭和のならまち暮らしはちょっと変!？」 | 8 |
| ステキに撮ろう！秋の高畑／入江泰吉記念奈良市写真美術館 | 4 |
| 奈良町のお酒を愉しもう／奈良春日山酒造株式会社 | 14 |
| 昭和初期のく奈良町家＞登録有形文化財の町家で過ごすひととき ／京終やまぼうし | 22 |
| レンガ造りのく醤油蔵＞醤油の製造現場特別ガイド ／イゲタ醤油（株）井上本店 | 15 |
| コミュニティ 駅長さんの京終駅舎案内 コールダックKちゃんも参加 ／京終駅舎 | 16 |
| まちかど博物館ツアー／きたまち編 | 7 |
| まちかど博物館ツアー／ならまち編 | 6 |
| 中将姫ゆかりの寺院をたずねる／高林寺・誕生寺・徳融寺 | 10 |
| 町名由来板を巡ル | 6 |
| 柳生街道高畑ツアー | 5 |
| 大学生がご案内！京終エリアの見ル・知ル・巡ル | 7 |
| インフォメーションブース | 79 |

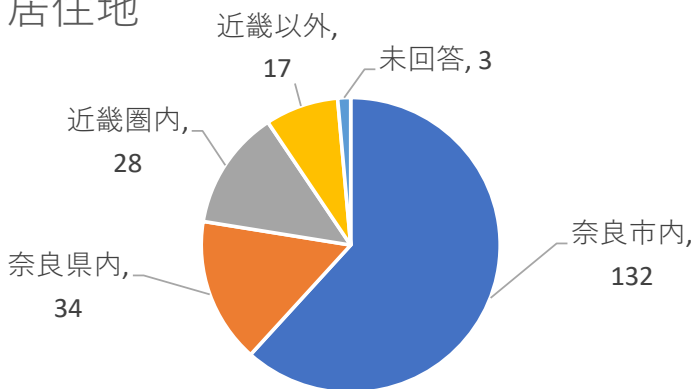
性別



年代



居住地

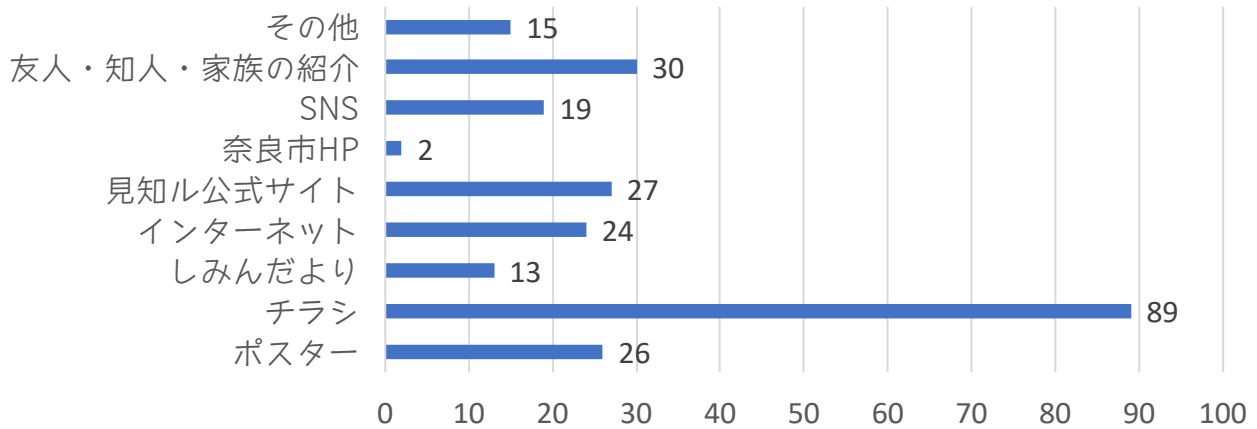


近畿以外の内訳

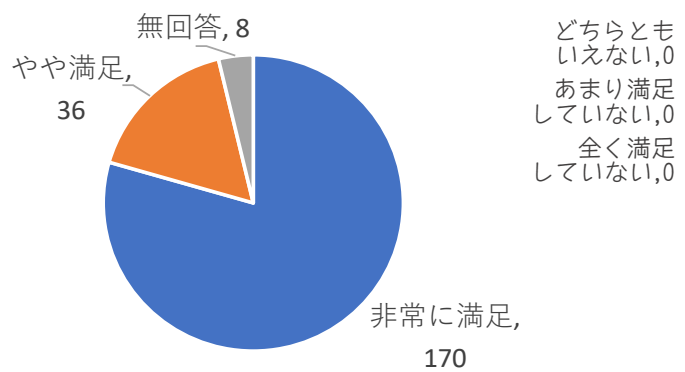
- 東京都 6
- 山口県 5
- 神奈川県 2
- 千葉県 1
- 愛知県 1
- 長野県 1
- 福岡県 1

< 設問 >

奈良町見知ルを何で知りましたか？(複数回答可)



イベントに参加していかがでしたか？

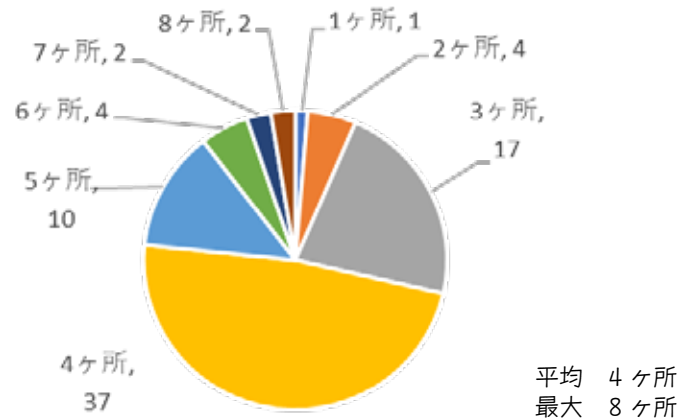


平均訪問スポット数

見ル奈良町

(単位:人)

1か所以上訪問の場合のみ集計

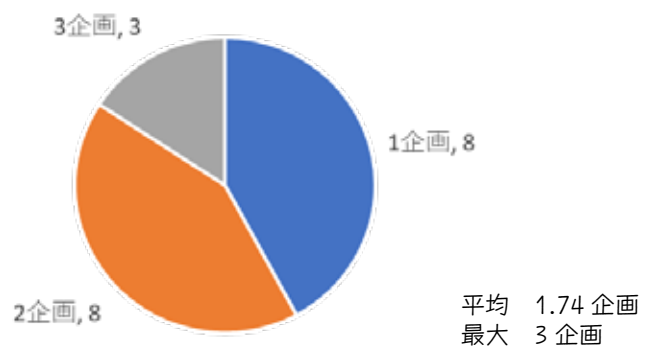


平均参加企画数

知ル・巡ル奈良町

(単位:人)

1か所以上訪問の場合のみ集計



今後、奈良町見知りルに期待すること（事由記載）※一部抜粋

今回の参加で建物の歴史・大切に使われている様子が知れて良かったです。
時間の許す限り、いろんなところを回って奈良町への愛を深めたいです
各スポットの案内にいらした方々温かく迎えてくださりありがとうございました。
各スポットで案内して下さる方が遠慮がちだったのでもっと熱く語って下さってもよかったですと思います。
歴史も由緒もあるのでから自信满满でお願いします。
丁寧に用意されてホスピタリティーを感じた。
奈良町出身です。今後も皆様で盛り上げてください。
この地域にはまだまだ素晴らしいものがたくさん残されているので今後もこういう機会を作っていただきたいです。

もう少し広報に力を入れたほうがよい（２）
期間を延長してほしい、回数を増やしてほしい（５）
町家の公開を平日にもしてほしい
平日のイベントが多くやや参加しにくい
イベントの日時が重なって参加できないイベントがあったので適宜調整してほしい。
イベントのHP から直接申込できるようにしてほしい
同地域のポイント建造物の開館時間が揃うとまわりやすい

《公開先等の希望》

普段見ることのできない場所
２時間ぐらいで奈良町を歩くイベント
お寺巡り（秘仏・観光寺院でないお寺など）
奈良の神社・お寺以外の歴史的な建物・文化の紹介
ならまちにかかる知られざる行事・伝統・エピソードなどの紹介
「食」をテーマにした企画
知り奈良町、巡る奈良町の企画を増やしてほしい。これらも残していただいて後世に伝えていただきたいです。

《個別の感想》

五劫院

予約なしで訪問できて大変良かったです。

佐埜家住宅

初めて入ることができうれしかったです

藤岡家住宅

格子の戸など見せてもらって良かった。

庚申堂

庚申堂の三像を拝めて良かった。これから扉が閉まっても三像を思い浮かべることができてうれしいです。
庚申堂で案内して下さった男性の方、わかりやすく写真等も示して下さりとても良かったです

元大学教授が案内！産業遺産ガイド／工場跡事務室

初めて参加させていただきましたが非常に満足でした。
近くに住んでいて新たな発見がありました。
今回はとても良い企画で満足しました。二階堂先生の説明、楽しく大変よくわかりました。

早起き！産業遺産ガイド／工場跡事務室

このようなステキな建物をこれからも残していただいて後世に伝えていただきたいです。
ガイドとランチに参加できて良かったです。お食事もおいしかったです。
貴重な工場跡、維持が大変だと思いますが応援しています。また来たいと思います。

落語館館長のならまちこぼれ話「昭和のならまち暮らしはちょっと変!？」

知らない奈良町の姿を知ることが出来て楽しかったです。また機会があれば話を聞きたいです。
楽しいお話でした。“捨て子”のエピソード、面白かったです

奈良町のお酒を愉しもう／奈良春日山酒造株式会社

お店の方のサービス魂がさくれつして素晴らしい会でした。
いっぱい試飲させていただきました。新商品が世に出ることをお祈りしています。
盛りだくさんの解説と試飲ありがとうございました
八木酒造さんに来る機会がなく、今回初めてで社名も変更になっており、新しい発見でした。
試作の梅酒の製品化、心より願っています。

昭和初期の〈奈良町家〉登録有形文化財の町家で過ごすひととき / 京終やまぼうし
700 円では少額すぎるほど、豊かな時間を過ごすことが出来ました
町家ゆっくり見せていただいて昔のたたずまいや「住」の知恵にふれました。
とても勉強になりました。すごい！と思ったりステキ!! と思ったり心の栄養、意味のある時間、
豊かだったなあと思いました。見知ルのスタートがやまぼうしさんでよかったです。
キッシュ美味しかったです。又、きます。

レンガ造りの〈醤油蔵〉醤油の製造現場特別ガイド / イゲタ醤油(株)井上本店
醤油醸造も楽しく勉強になりました。また来年もよろしくをお願いします。
説明者の“力”により少しはお正油やお味噌がわかりました。このような製造工場の見学を期待します。

コミュニティ 駅長さんの京終駅舎案内 コールダック K ちゃんも参加 / 京終駅舎
K ちゃんかわいい！これからも元気で楽しい企画をよろしくをお願いします。
演奏もお話も最高でした！
京終の歴史を知ることが出来て良かったです。なにより K ちゃんがかわいかったです
コミュニティ 駅長さん長生きしてください
高円高校の皆さんによる素敵な演奏も、丸山コミュニティ 駅長による京終ガイドもとてもよかったです
私の父が京終生まれ、京終育ちで私も小さいころに何度か来ていました。懐かしく、
ノスタルジックで味のある駅で、ぜひもっともっと知ってもらえるチャンスがあれば嬉しいです。
電車は 1 時間に 1 本の運航で、チャンスが難しいかもですが…本日はありがとうございました。

まちかど博物館ツアー / きたまち編
普段見れない仏像が見れてよかったです

まちかど博物館ツアー / ならまち編
奈良町のディープなところが見られてよかった
詳しい話が聞けて楽しかったです。
ホテル尾花 中野社長、建築家山下さんの話大変面白かった。別途独立した講座開催を期待します。

中将姫ゆかりの寺院をたずねる / 高林寺・誕生寺・徳融寺
ガイドさんがとてもよかったですので次回も期待いたします。
雨でしたが、楽しく巡ることが出来ました。
昨日は長谷寺・當麻寺に行き、今日のイベントでもっと詳しく知ることが出来ました
それぞれのお寺の詳しいお話が聞けて満足です。
伝説の姫が今も生きておられるところが女性としてはかない気持ちです
楽しく案内していただきました。ますます奈良が好きになりました。
永い間中将姫の伝説見たり聞いたりしたいと思いつけていました。
縁あってみどりさんのガイドで実現できてとてもハッピーな時間でした。

町名由来板を巡る
以前から町名由来板を見かけ、興味がありました。今回参加させていただいて、
いろいろ説明が聞けて良かったです。
丁寧な説明で奈良が増々好きになります。このようなイベントがあればまた参加したいです。
奈良町に住まれているガイドさんの説明はとても分かりやすく、内容も身近に感じました。

柳生街道高畑ツアー
たくさんの建物・遺跡があり楽しいです
いろいろと詳しく説明いただいてとても勉強になりました。
解説をする方が皆さん詳しく丁寧でとても勉強になり面白かったです。

大学生がご案内 / 京終エリアの見ル・知ル・巡ル
「プラタモリ」みたいで楽しい時間を過ごせました
とても良かったです。また参加したいです。
来年もお願いします。
説明がはっきりしていてわかりやすかった

綴って見知ル

2023年11月5日~12日 メッセージ総数59

旧細田家住宅 25枚

滅多に見られない
ので楽しみにして
います。
当時の生活か(のほ
ゆる)す。
ありがとう)ごさいました
お子

かまどがたくさあ
たのがびっくり
した! すごかった
ならにはじめてき
ました!

60年前の
農家の牛小屋で
牛が草を食べてた姿の
思い出がよみがえり
ました。ありがとう

小さな空間の中に、
たくさんのお話を聞いて
興味深く見ました。
どうもありがとうございました!

黒いしつくりと
興味をもちました。
今日は、どうもあ
りかたうございました

ならまち最後の
農家、興味深く
拝見いたしました。
貴重な財産
ですね!

六畳二間に
家族何人で住んでいた
のか分かりませんが、私も
もっとシンプルに暮ら
したいと思いました

牛小屋の
昔の農機具を
懐く思い出して
拝見しました。

かまど、便所
ごすか
33年住みましたが、実家が
似ていて、すくなくない
です。

杓は、82才。
昔、北村という
人が、
くさつ= (きり)

ならまちと
歩くのが、好きです。
古い文化を大切に
守って下さって
ありがとうございます

いろいろと
勉強になりました
ありがとうございました
ありがとう

初めて来た。
昔のお家の様子が
よく分かりました。

古民家が多く
残されているのを知り
せよ。観光の目玉に
して下さい。
佐々木

緑側から見た庭が
とてもキレイで、落ち着きました。
昔の道具も見るにたがって
大満足です！

かまどが
たくさんあった
のがいいわ。くし
したていい😊
なうにいいわてま

とても貴重なお宅
を見せただけ
ありがとうございました。
祖母のお家のよう
でした。♡♡

すごくいいものが
残っていました。
来て良かったです！

入口すぐに牛小屋が
ある生活はどんなか
住んで人に聞いてみたい
かまどがすこいぞす。

食べて、寝て
仕事(農業)する。
Simple is the
Best!

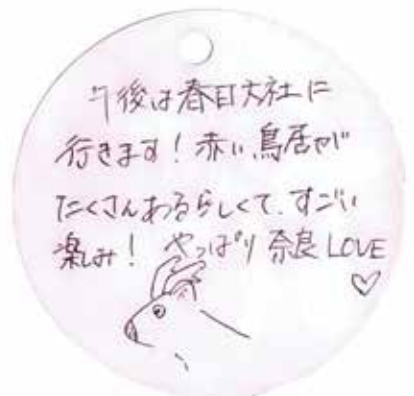
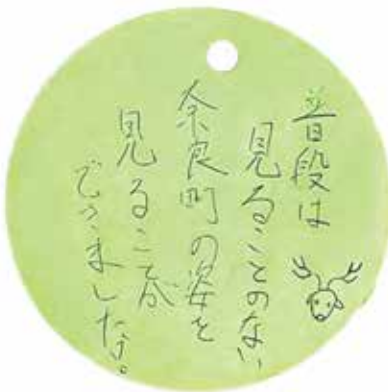
とてもかわいらしい
本家のあはあちゃんを
思い出します
住みたい

ていねいに
保存されている
ご苦労なのはわかります

昔の道具
見ていると
あつあつ御座います


煙道にがけす
ような柱とか
築玉未だ残っている
たがす。
かまども小さいものが
大きいものまで
よかったです。

古い道具などが
きれいに残っていて
すごいです。昔ながら
の畳の部屋は居心地が
よくていいまご
♡ いたい




歴史を感じられる
町並みが残され、
文化や芸術の舞台にも
なっている奈良町。この町
大切に継承される
ように

★ 今日
学級の見学に行きました。
奈良のことを
いっぱい知った

奈良が大好きです、
正倉院展を観るために
東京の弾丸に乗りました！
Tシャツ、おしぼり、ステッカー
いろいろ探検しました！


これから歩きに
行きます。
今西家書院と
志賀直哉旧屋が
特に楽しみ！


昔の奈良を
たくさん知ることが
できました！
このあと春日大社に
行きます！

きたまち ならまちを
まわりました。
奈良町の秋を
楽しみました！


野家の感じが
すごかったです。
昔の岩が床の下
にあることに
びっくり！

普段は見ることの
できない場所が見られ
て楽しかったです☆

来年も
やりましょ

紅葉も
進んできて
すばらしい書と共に
楽しませて
いただきました。


初めて来ました
すてきな間とり
と庭のなかめが
いいですね

たのうやく
来ることが
できました
♡!

久しぶりに書院に
来て良かったです。
歴史を感じる落ち着いた
空間で、
とてもいやまれ
ました。

今西家書院
上段の間や 廻り障子
全に趣があり ゆくり
と来ました

どの場所から
でも外の景色が
見える造りで、ゆかり
紙やかまど地い
空間でした


今年も
来ることを
できてよかったです。
とても気持ちよく
たのびました
ステキ
でした。

室町時代
書院建物も
見ることができ
ました。

志賀直哉旧居 8枚

秋の風と、
緑、鳥の音
を感じられる。
自然と一体
になれた家！
♡

まごの外を見て
遠くの上までみれ
るとは、思わなかつた。
自然にふれあ
えたい。



視線を上と下に
いろいろ見渡す
と小さな発見
もあり楽しい。
落ち着く、でも
贅沢な空間
でした。

和と洋が
混じり合った
すばらしい
空間で、
またもつ一度
来たい。

建造物に興味が
あり寄りました。
とても素敵な空間
です。
志賀
直哉の椅子に
座りました。すわわわ
嬉しかったです。

書斎の
イスに座れた
と思えなかつた。
志賀直哉に
なれた気が
なれた！！

11月7日
イベントがやっていることを知らず、
いつもの散歩で立ち寄りたのですが、
先生が使って使用していたという
書斎の11時に座ることかできて、
すごくうれしかったです。
このイベントのおかげで先生のことを
より多くのちに伝えますように。

Thank you
so much
for unbelievable
visitation ☺
+
てれざい
ぜでぬく

奈良町見知り実行委員会 Newsletter 特別号①②③④
資料編

2023年12月22日発行

編集責任者：杉山 晋平（天理大学）

編集担当者：田中 梨絵（天理大学）

写真：東 拓実（天理大学）、石井直子（文化創造アルカ）

今西 靖子（今西家書院）、門内 緋里（天理大学）

川島 典子（ボランティア）、川頭 史空（あそぶなら）

木村 愛美（天理大学）、黒野安希子（奈良市）

杉山 晋平（天理大学）、田中 梨絵（天理大学）

徳永 かよ子（ボランティア）、中村 咲子（奈良市）

前川 あけみ（ボランティア）、松岡美希（高畑住民）

資料データ：奈良町にぎわい課（黒野安希子）

川頭 史空（あそぶなら）

連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp



第2部

奈良町見知り 開催までの歩み



奈良町見知ル実行委員会

Newsletter No.10

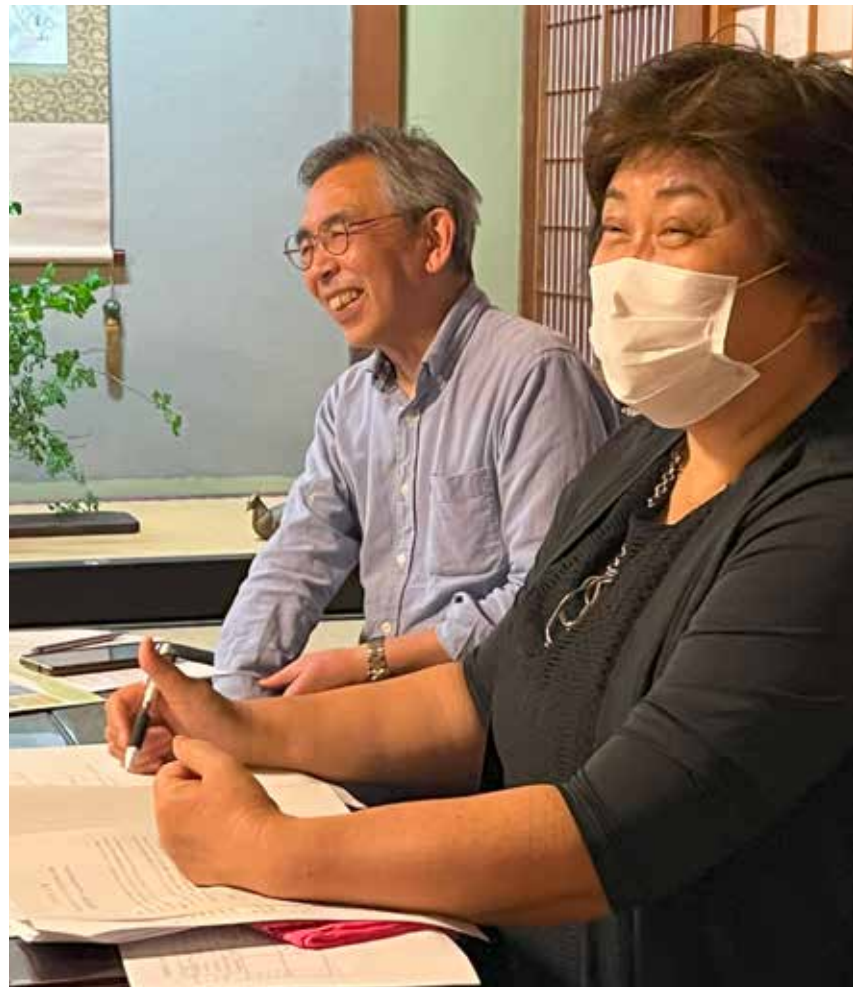
第1回実行委員会 2023年4月21日(金)

今年は3年目、さらにパワーアップして頑張りたい!

3年目の今年はパワーアップして頑張りたい!と意気込む倉橋みどり実行委員長の挨拶に始まった実行委員会。まずは、昨年を振り返りました。

2年目の昨年はチャレンジの年で、オープニングトークの開催、企画参加者との交流、ボランティア募集などたくさんの新しい挑戦を行いました。奈良町見知ルのようにいくつもの企画が集まって開催されるイベントは、いつの間にか始まりいつの間にか終わることもありますが、オープニングトークでみなさんと「始まり」を共有できたことが良かったです。また企画参加者やボランティアとの交流会も開催しました。関係者全体でゆるやかに気持ちをひとつにできたことも2年目の大きな成果です。ぜひ今年も継続していきたいと思っています。加えて、西部公民館「大人の学舎」に奈良町見知ル実行委員会が協力し、天理大学の学生に奈良町見知ルのスポットを案内するノウハウを伝授し、学生が受講生にガイドするという企画にも挑戦しました。教えてもらったまちの素晴らしさを、今度は別の誰かに伝えるという循環が生まれたこと自体が、奈良町の魅力を物語ります。この輪をゆるやかに奈良町見知ルを通して広げてゆけたらいいですね。

このように、2年目のチャレンジはどれもすごく良かったので、今年はさらにパワーアップして続けていきたいです。



(左) 副実行委員長 藤野さん

(右) 実行委員長 倉橋さん

見ル・知ル・巡ル 意外と歩ける奈良町

今年は企画名称を新たにし、特別公開が「見ル奈良町」に、特別イベントが「知ル奈良町」に変わります。そして、新企画として「巡ル奈良町」を行います。昨年、特別イベントの中で行っていたツアー企画の評判がよく、手応えが感じられたので、今年は見る、知る、巡るの三本

柱で、進めていきます。

「高畑から京終は遠いイメージがあるけど、歩いてみたらそうでもない」と言うのは高畑在住の実行委員三谷さん。「奈良町は実際に歩くと近い、それを巡ル奈良町で体験してほしい」。初めて来た人も、何度も足を運んだことがある人も、組み合わせによって新たな発見に出会えそうです。ぜひお楽しみに。

聞ク読ム見知ルの実行委員

聞き手：天理大学 杉山 晋平

実行委員会のメンバーに話を聞いてご紹介します！



ならまちで生まれ育った田中 宏一と申します。私は「さんが俵座」というまちづくりの会のメンバーです。

奈良町見知ルは、今までは、どちらかといえば、展示的というイメージで思っていました。今回はまちの中を巡るということで、協力いただける方もたくさんいらっしゃるだろうし、また来場者というか、お客さんで来てくれる人も、「人」ということをイメージしてもらえないかと思えます。それが十時ついてくると、地域の人たちも動き出すと思うので、良いきっかけになるのではないかと。「巡る」という言葉で、地域の地域を知るもんが関われる可能性も広がったと思えます。まあ、すぐには充実したものはなかなかできないと思うんですけど、徐々に「人と一緒に」というイメージが出てくるんじゃないかと。また、巡った場所で人を知ってコミュニケーションが生まれると、リピーターさんが出てくるんじゃないかなと、まあこういうことですよ。「巡る仕掛け」が交流につながるのではと期待しています。

さんが俵座 田中 宏一さん

この4月から奈良町にぎわい課に異動になった高 洋平と申します。以前は観光戦略課にいました。奈良町のことをもっと知りたいと思っていますし、もっと紹介していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

みなさん、すごく楽しい雰囲気です話合いが行われていて、こういう楽しい雰囲気で作っていく企画だったり、面白いものができるんだらうなと感じました。私自身が全然まだわかっていない状態ではあるんですけども、企画を作っていく段階で学んで行く面白さがあると、実行委員会のみなさんがおっしゃっていたので、私も皆さんと一緒に楽しみながら企画を準備していけたら良いなと思っています。

奈良町にぎわい課 高 洋平さん



次回の実行委員会

第2回 2023年5月19日(金)

第3回 2023年6月16日(金)



奈良町見知ル実行委員会 Newsletter No.10

2023年5月19日発行

編集責任者：杉山 晋平（天理大学）

編集担当者：田中 梨絵（天理大学）

連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp



© 奈良町見知ル実行委員会 2023



奈良町見知り実行委員会

Newsletter No. 11

第2回実行委員会 2023年5月19日(金)



今回の会議は、「ちょっといいところ」のアイデア出し

見知りの企画は、実行委員会で選んだ「ちょっといいところ」スポットのオーナーに企画参加を打診をすることで始まります。それに先立って2回目の実行委員会では、今年の「ちょっといいところ」スポットを選ぶための密度の濃いアイデア出しを行いました。

事前に出し合った「見ル奈良町」「知ル奈良町」「巡ル奈良町」の40以上の案には、昨年の企画に加え、新たなスポットも含めました。それら一つひとつを

確認しながら意見を出し合い、大切にしたい3つのことを共有しました。

1つ目は、「そのスポットの人に話をしてもらうこと」。ただ見るだけではなく、そのスポットをよく知る人から話聞けると「ちょっといいところ」の魅力が倍增する、それが全会一致の意見。魅力的な話聞けるような工夫をしていきたいです。

2つ目は、「地域の人に関わってもらうこと」。地域の人が企画に関わるスポットを一つでも増やしたいというのは1年目からの想い。認知度がない中で地域の人たちから協力を得るのは

難しいため、イベントを実施しながら少しずつ理解を得ようと努めて3年目。今年は、地域の人がお祭りするお堂など、より地域に関わりの深いスポットを1カ所でも増やし、見知りの楽しさをさらに広げていこうという想いを共有しました。

最後は、「昨年のスポットにも継続して参加してもらうこと」。同じ内容でも良いので、細く長く継続して奈良町見知りに参加してもらうことの大切さが共有されました。

今後は、「ちょっといいところ」のオーナーに、奈良町見知りの企画に参加してもらうべく声かけを行っていきます。



聞ク読ム見知ルの実行委員 聞き手：天理大学 田中 梨絵
実行委員会のメンバーに話を聞いてご紹介します！



- 自己紹介 -

高畑にある不空院というお寺の三谷 早苗です。

- 今年の感触は？ -

高畑は住宅が多いので、ご紹介できる場所が少ないように思っています。でも、それをどのように紹介していくのか、切り口が変われば面白さも変わるのかなあと思うのと、ちょっとずつ見知ルのことが広まっているので、周りの方にお声かけしやすいかなとも思っています。

- 今年の意気込みは？ -

そうですね、高畑はずっと私一人なので、できたら見知ルを知っていただいて、皆さん自身も参加していくようなかたちになったら、もっと良いのかなあと思っています。

不空院 三谷 早苗さん

- 自己紹介 -

私は「うとうと」という料理屋をやっている、あと奈良まちづくりセンターの理事もしています、野村 修二です。

- 今年の感触は？ -

去年よりは話としては深くはなってきたと思う。ただ見てもらうだけじゃなしに、要するに「もの」に対する物語性をみんなにわかってもらうっていうね。そこも踏まえて聞いてもらって見てもらうことによって、より魅力が倍増する、そこに見知ルをやる意義があるように思うね。

- 今年の意気込みは？ -

私は、直接参加することがなかったのですが、参加できるところがあれば積極的に参加していけたらなと思っています。

うとうと・奈良まちづくりセンター 野村 修二さん



◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 次回の実行委員会 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

第3回 2023年6月16日(金)

第4回 2023年7月21日(金)



奈良町見知ル実行委員会 Newsletter No.11

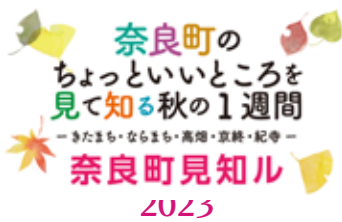
2023年6月15日発行

編集責任者：杉山 晋平 (天理大学)

編集担当者：田中 梨絵 (天理大学)

連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp





奈良町見知り実行委員会

Newsletter No.12

企画参加者交流会 2023年6月14日(水)



奈良町見知り恒例の企画に参加されている皆さんとの交流会を開催しました。

奈良町見知りの目標の一つに、イベントを通して「きたまち」「ならまち」「高畑」「京終・紀寺」の個性を、それぞれのエリアで活動している人たちが理解し合うことを掲げています。そのためには交流が大事！ということで、昨年の見知りから実

施しているのが、各エリアの皆さんが企画を考える段階で交流する「企画参加者交流会」です。

2023年の今年も、それぞれのエリアの企画を盛り上げるだけでなく、見知りのイベント全体がもっと良くなるようにと、いろんなアイデアが出てきました。今年も、「巡る奈良町」が大きなポイント。「エリア内を楽しみながら巡ってもらえるよ

うに、このメンバーが独断で選ぶエリアの良いところを紹介するMAPを作成してみてもは？」とか、「御朱印帳やシールラリーのように何かを集めると巡る楽しさもアップするのでは？」といった、楽しそうなアイデアがいっぱい。

今後、実現できそうなものを実行委員会でも話し合っています。

聞ク読ム見知ルの実行委員

聞き手：天理大学 田中 梨絵

企画参加者に話を聞いてご紹介します！



きたまちエリア

- 自己紹介 -

東大寺の裏で工場跡事務室というカフェの運営をやっている喜多 和夫と申します。

- 今日の感想は？ -

このようなイベントに参加すると思うのですが、イベントに参加している人同士がお互いを知れる機会はあるようでないことが多いんですね。でも、奈良町見知ルは最初の頃からこのような機会を設けてくださっているので、今日もいろんな方と知り合える良い機会だったと思います。

- 今年の意気込みは？ -

工場跡としては例年通り今も残っている工場の設備を見ていただくことは変わらないのですが、新たに分かってきたことや見やすい工夫を考えているので、そういうところを楽しんでいただけるように、まだまだこれから準備を頑張ります。

工場跡 主宰 喜多 和夫さん

京終エリア

- 自己紹介 -

北京終町で、醤油、味噌、麴、その他の加工品の製造販売を行っている井上本店の吉川 修と申します。

- 今日の感想は？ -

地域のつながりという意味では、確かにいろんなイベントがたくさんあるのですが、なかなかつながりにくい部分がやっぱりあって。私は3回目の参加になるのですが、その点では、見知ルは参加している人たちがつながっていく、良い機会になるイベントなのかなと思っています。

- 今年の意気込みは？ -

うちも基本的には従来通り、中に入っていたいてというのには期間内で1回程度になります。ただ、巡るという点で、レンガの建物を外から見ただけ、もしくは外に漂う香りを楽しんでいただくなど、なんらかの方法で工夫ができれば、今までと違った形でも参加させてもらえるかなと思います。

井上本店・イゲタ醤油醸造元 代表取締役 吉川 修



◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 次回の実行委員会 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

第4回 2023年7月21日(金)

第5回 2023年8月18日(金)



奈良町見知ル実行委員会 Newsletter No.12

2023年7月21日発行

編集責任者：杉山 晋平（天理大学）

編集担当者：田中 梨絵（天理大学）

連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp





奈良町見知ル実行委員会

Newsletter No.13

第3回実行委員会 2023年6月16日(金)



第3回の実行委員会では、現在でてきている企画の一覧をもとに、企画参加者交流会でのアイデアや感触も踏まえて、全体のバランスをみながら実施する企画について意見を出し合いました。

特に、「巡ル奈良町」は、今年度からの取り組みということもあり、全エリアから企画を出そうという意見が挙がりました。巡ル企画がなかった「京終・紀寺」エリアでは、天理大学生涯教育専攻の学生が、ガイドツアーを考えることになり、巡るスポットの案として京終駅舎や市場跡などが挙がりました。昨年、西部公民館の講座で受講生に見知ルの企画を巡るガイドツアーを実施した学生の経験を活かし、生涯教育専攻らしく地域の人と交流しながらアイデアを形にしていきます。



そのほか、企画参加者交流会で、巡ることを楽しんでもらうアイデアとしてシールラリーなどのアイデアが出たことを共有しました。見知ルは、奈良町全体の企画に参加するのも面白いし、一つのエリアの企画を制覇して、そのエリアを深く知るのも面白いというように、楽しみ方がたくさんあるのが良いところ。工夫次第で、私たちが来場者にどのように見知ルを楽しんでもらいたいと思っているのかを伝えることもできるのではないかと思います。充実した会議になりました。



次回は、企画の内容が出揃うので、楽しみ方を考えていきたいと思います。

聞ク読ム見知ルの実行委員

聞き手：天理大学 田中 梨絵

実行委員会のメンバーに話を聞いてご紹介します！



- 自己紹介 -

奈良町座の林 啓文です。

- 今年の感触は？ -

今年は「巡ル奈良町」というのが加わったのが新しいし、1回目、2回目からさらにボリュームアップしたし、バージョンもアップした気がします。実行委員会の様子はあんまり変わらへんのかなという気はしますが、今日みたいにオンラインの参加があって、ここに居ないけど、増えてるのかなと思いますね。そういう点でよかったなと思います。

- 今年の意気込みは？ -

去年、奈良町座が作っている町名由来板を使った企画を立てたのですが、思ったほど参加してもらえなかったので、今年は、少し方向性を変えて企画を立て直しています。定員を超える申し込みを期待していますし、たくさんの方をお迎えできるよう奈良町座としても体力作りをしていきたいです。

- 自己紹介 -

高畑住民の松岡 美希です。

- 今年の感触は？ -

1回目があって、2回目が良くなって、それを積み重ねて3回目が作られているので、良くなる方向に向かっているような気がしています。だんだん慣れてきて、みんなが「もっとこうしたい」という案がスムーズに出てきているように思います。この空間において、みんなが同じ方向に向かって進んでいるような空気感を感じました。

- 今年の意気込みは？ -

2回目は、1回目に参加者として一緒に巡った人とご縁をいただいで企画を立てました。その経験やそのときのお客様の感想を通して、見知ルが大切にする「ちょっといいところ」がお客様目線で意識できるようになった気がしているので、今年は見知ルらしい提案をしていけたらいいなと思います。



◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 次回の実行委員会 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

第4回 2023年7月21日(金)

第5回 2023年8月18日(金)



奈良町見知ル実行委員会 Newsletter No.13

2023年7月21日発行

編集責任者：杉山 晋平（天理大学）

編集担当者：田中 梨絵（天理大学）

連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp





奈良町見知り実行委員会

Newsletter No. 14

第4回実行委員会 2023年7月21日(金)

出揃いました！ 今年は16会場他で 27企画を実施！！

今年は、見ル奈良町で10会場、知ル奈良町で6会場9企画、巡ル奈良町で8企画の合計27企画の実施が決まりました！

4回目の実行委員会では、出揃った企画を確認。例年通り、イベント期間の前半に京終・紀寺エリア、後半にきたまちエリア、ならまちと高畑エリアは全期間を通して企画が実施される予定で、バランス良く企画が決まりました。

また、オープニングイベントとして、初日の7月5日(日)夜に「奈良町見知り開幕祭」の実施も決定。「ちょっといいところ」の関係者がそれぞれの施設の魅力を紹介するオープニングショーを行います。「期間中はエリア全体で交流できない」との意見から、開幕祭のメインテーマを、「つながりづくり」に。お客様、企画を実施する企画参加者のみなさん、ボランティアスタッフ、実行委員会のメンバーと、奈良町見知りに関わる全員が「楽しくつながる」開幕祭を目指します！

さらに、今年は見ル奈良町をもっともっと楽しむ工夫として、期間中に配布するガイドブックを制作します。予約不要の見ル奈良町を徹底的に紹介するガイドブックのほか、会場で配布するハンドアウトや見知りシールなどなど、期間中に見ル奈良町を巡って楽しんでもらえ



るような工夫をたくさん考えています。ぜひお楽しみに。

奈良町見知りでは、現在ボランティアスタッフを大・大・大募集中です！詳しくは、公式サイト・SNSから！！



聞ク読ム見知ルの実行委員

聞き手：天理大学 田中 梨絵

実行委員会のメンバーに話を聞いてご紹介します！



- 自己紹介 -

なべかつの中川 崇（なかがわ たかし）です。ほかに、奈良町座とNPO KYOBATEと高畑トラストにも入っています。

- 奈良町見知ルの感触は？ -

奈良町見知ルの参加は今年が初めてです。今日の会議に参加して、具体的に企画が固まっていった、場があたたまってきたように感じました。奈良町見知ルの実行委員会は空気は緩やかなのですが、議論が活発で、意見を企画に落とし込みながら、着実に進んでいるので、安心感があります。

- 今年の期待のイベントは？ -

きたまちの近代建築めぐりです。なべかつでも、きたまちではたくさんいろんなツアーを行ってきましたが、この切り口はあまりなかったの、どんなイベントになるか楽しみです。

なべかつ 中川 崇

- 自己紹介 -

学生団体「あそぶなら」の川頭 史空（かわず ふみたか）です。

- 今年の感触は？ -

2年目の参加なので、今年は全体を見る余裕ができて、みなさんの企画を楽しそうだなって思いながら参加しています。今の時期はまだまだというか、去年は本番に近づくにつれてみなさんの目が輝きだしたので、これから名シーンが生まれそうですし、自分たちも生み出せるように頑張りたいです。

- 今年の意気込みは？ -

「落語館 館長のならまちこぼれ話」という企画に携わっているのですが、館長の話から「ならまちは昔から変わっていない」という意識が覆りました。自分が知って驚いたならまちはいろんな人に伝えられるイベントにしていきたいです。

学生団体「あそぶなら」 副代表 川頭 史空



◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 次回の実行委員会 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

第5回 2023年8月18日（金）

第6回 2023年9月22日（金）



奈良町見知ル実行委員会 Newsletter No.14

2023年8月18日発行

編集責任者：杉山 晋平（天理大学）

編集担当者：田中 梨絵（天理大学）

連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp



© 奈良町見知ル実行委員会 2023

特集：ボランティア

今年も奈良町見知ルと一緒に盛り上げてくれるボランティアさんが集まりました！9月の説明会には、昨年から参加しているお二人に加え、たくさんの方に参加くださいました。予定が合わなくて参加できなかった方も含めて、最終的に9人のボランティアさんと一緒に活動。

このつながりを、これからも大切にしていきたいです。

いつも通っている図書館でボランティア募集のリーフレットが目にとまり、初めてだったけれども、思い切って応募したのが、今回の活動の始まりでした。奈良町には何度か訪れてはいるものの、その歴史に触れる事がないままでおりましたので、少しでも知識を自分のものになりたいという思いがありました。

オリエンテーションの時は子どもを連れての参加でしたが、その柔らかな雰囲気心地良く、活動を共にする方も穏やかでホッとしたのを覚えております。活動の内容は、事前に御霊神社、法徳寺、庚申堂でのお話を聞かせてもらいました。庚申堂の内部に入って祭られた観音様を見られたのは貴重な体験でした。(須川)

高畑の見学会では、地元民の松岡さんを中心に、和やかに大乘院庭園から鏡神社まで歩きました。途中の赤穂神社とか行ったことがなかったので、地元ならではのコメントがありがたかったです。とても勉強になりました。(徳永)



聞ク読ム見知ルの実行委員 聞き手：天理大学 田中 梨絵

実行委員会のメンバーに話を聞いてご紹介します！



- 自己紹介 -

旧鍋屋交番と奈良きたまの会（なべかつ）の副会長の吉田守です。

- 今年の感触は？ -

1年目から参加してるけど、今までは事務局長と一緒に時々参加する形で、今年から本格的に参加した感じやね。1回目より2回目、2回目より3回目と、新しいところが増えて、充実してきたと思う。実行委員会としては、もう少し各団体が交流して協力できたらいいかなあと思っています。

- 今後の意気込みは？ -

なべかつでも、歴史とかをテーマにということであれば、きたまの歴史をテーマに巡ルツアーはできる気がする。企画の内容を考えて、タイトル作ってと、得意な人もなべかつにはいるし。来年は、なべかつとしては、奈良町見知ルをもっと大きくしていくために、企画を作ったりと協力していきたいと思っています。

旧鍋屋交番と奈良きたまの会 副会長 吉田 守

- 自己紹介 -

奈良まちづくりセンターの理事の勝野一です。

- 今年の感触は？ -

きたまちやならまちの新しいちょっといいところが出てきて、前から気になっていた五劫院や庚申堂が見ルスポットとして参加されて良かった。特に、ならまちの庚申堂の公開が、来年度以降、他の会所の信仰仏が公開されるようになるきっかけになったらいいなあと。

- 今後の意気込みは？ -

今年を成功させて、ならまちの奥深いところまで知ってもらいたい。例えば、庚申堂にしても、本来は地域の人が集い信仰の中心としての「会所」であることなど、ほんまのことを知っている人が少なくなっている。そういうところまで、来た人に知ってもらえるようにしていきたい。

奈良まちづくりセンター 勝野 一



奈良町見知ル実行委員会 Newsletter No.15

2023年12月6日発行

編集責任者：杉山 晋平（天理大学）

編集担当者：田中 梨絵（天理大学）

連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp





奈良町見知り実行委員会

Newsletter No.16

企画参加者・ボランティア
実行委員 交流会

2023年12月15日(金)



みんなで作り上げるあたたかい雰囲気の交流会 2023年を振り返って、関わる仲間全員が笑顔で交流！

奈良町見知り2023に関わっている企画参加者、ボランティア、実行委員の三者が入り交じって、今年の見知りを振り返える交流会を開催しました。

見知りが終わって約1ヶ月。師走の忙しい時期ではありましたが、お決まりの会場となっている奈良町にぎわいの家で、集まった関係者の皆さんたちと、今年の見知りに参加して、率直にどう思っているのかなどの、意見交換を行いました。

交流会のメインは、関係する皆さんとの情報共有。はじめは「きたまち」「京終」「ならまち・高畑&ボランティア」の3グループに分かれて、感想や今

後の見知りについて話し合いました。イベントも3年目となり、また、今年は皆さんそれぞれが他のメンバーと会う機会も2、3回とあったので、そこまで緊張することもなく話が弾んでいたようです。その後、グループをシャッフルして、他のエリアのメンバーとも交流。自身の企画で感じた良かったことや嬉しかったこと、他の企画での様子やお客さんとの交流の様子など、それぞれが気になることを、思うままに話し、聴き合い、時には突っ込んだりと、楽しい時間となりました。課題の話になると、耳が痛いなぁと思うこともありましたが、前向きな意見

ばかりで、来年はもっとこういうことに挑戦したいわ！と言って盛り上がりました。

参加者のみなさんを代表して最後に感想を話してくださったボランティア 須川さん、企画参加者 中村さん、実行委員 萩原さんのお話をご紹介します。

ボランティア 須川 千恵子さん

今日は、こんなに密な話をすることは思っていなかったのですが、グループを替えて、メンバーを替えて話をした中で、みなさんがこんなにたくさん考えて参加されていたんだなぁというのがわかりました。あと、週に1回会合をしているとか、ボラン



ティアをやるだけではわからなかったことを知れて、今日は本当に良かったです。皆さんが作り上げてくださる雰囲気がとてもあたたかく、この時間をもて本当に嬉しかったです。ありがとうございました。

奈良市文化財課 中村 咲子さん
交流会は、今年だけでも何回

かあってすべて参加したので、「あ、あそこの方だ」とか参加されている方が見慣れた方になったというか、あと、きたまちで絆が生まれたりとか、ただイベントに参加するだけではなくて、コミュニティのような仲間に入れたなという感じがしています。ありがとうございました。

NPO KYOBATE 萩原 敏明さん

今日参加して、地域のここが好きとか、ここが良いとか、情熱的な方がたくさん集まっている見知りなんだなぁと改めて思いました。たくさんの方の情熱が集まって、一歩先に踏み込むというところが、皆さんキラキラしているなあと、私ももう少し交流会に参加していきたいです。



奈良町見知り実行委員会 Newsletter No.16

2023年12月21日発行

編集責任者：杉山 晋平（天理大学）

編集担当者：田中 梨絵（天理大学）

連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp



実行委員会等の開催記録

実行委員会 定例会

- 第1回 2023年 4月21日(金)
- 第2回 2023年 5月19日(金)
- 第3回 2023年 6月16日(金)
- 第4回 2023年 7月21日(金)
- 第5回 2023年 8月18日(金)
- 第6回 2023年 9月22日(金)
- 第7回 2023年 10月20日(金)
- 第8回 2023年 12月22日(金)

企画参加者向け説明会・交流会

2023年6月14日(水)

ボランティア説明会・見学会

説明会 2023年9月18日(月祝)

見学会 2023年10月1日(日)

2023年10月9日(月祝)

企画参加者・ボランティア ・実行委員交流会

2023年12月15日(金)

奈良町見知り関係者

実行委員会

きたまち

鍋屋連絡所の保存・活用と“奈良きたまち”の
まちづくりを考える会(なべかつ)
転害門前旧銀行建物活用協議会(てんかつ)
きたまちコンセント

ならまち

公益社団法人 奈良まちづくりセンター
奈良町座
さんが俵座
にやらまち猫祭り実行委員会

高畑

高畑街道まつり

京終

京終文殊
NPO KYOBATE

個人

松岡美希、森田尋子、田中梨絵

大学

天理大学生涯教育専攻(杉山先生・学生12人)

学生団体

あそぶなら

役員

実行委員長：倉橋みどり

副実行委員長：藤野正文

幹事：川頭史空、杉山晋平、田中梨絵、松岡美希

会計：森田尋子

監事：林啓文

ボランティア

川島典子、小竹豊子、小林真優香、須川千恵子、
滝井敏弘、田伐真理子、徳永かよ子、古谷雅、
前川あけみ

実行委員会オブザーバー

奈良市 奈良町にぎわい課

(原田勝 課長・高洋平 課長補佐・黒野安希子)

企画者参加者・協力者

きたまち

奈良県文化財保存課
五劫院
奈良市文化財課
工場跡事務室(喜多和夫)

奈良豆比古神社、西福寺、武田商店、植村牧場、
吉田守、浅原昭、榎本光博、二階堂達郎

ならまち

刀剣ショップ杜園(佐埜好英)
藤岡家住宅
法徳寺(倍巖良明)
さんが俵座(田中宏一・大下誠二)
今西家書院(今西靖子)
西新屋町自治会(森口雅程・勝野一)
さんが俵座(田中宏一)・田中梨絵・川頭史空
奈良市奈良町にぎわい課(黒野安希子)
文化創造アルカ(倉橋みどり・石井直子)
奈良町座(林啓文・勝井ひろみ・田中宏一)
奈良まちづくりセンター(清水和彦)

元興寺(高橋平明) 高林寺、誕生寺、徳融寺、
ホテル尾花(中野聖子)、元林院写真ギャラリー
(山下喜明)

高畑

奈良学園セミナーハウス(志賀直哉旧居)
旅籠長谷川(長谷川嘉信)
文化創造アルカ(倉橋みどり・石井直子)
株式会社奈良春日山酒造(森一成)
松岡美希

入江泰吉記念奈良市写真美術館、藤間家住宅、
鏡神社、吉川泰久、ろくさろん、不空院(三
谷早苗)

京終

京終やまぼうし(吉岡卓也・幸子)
イゲタ醤油(株)井上本店(吉川修)
奈良市奈良町にぎわい課
(原田勝・高洋平・黒野安希子)
京終駅コミュニティ 駅長 丸山清文
天理大学生涯教育専攻
(杉山晋平・田中梨絵・東拓実・門内緋里・
金山真耶・木村愛美・田辺七海)

JR 奈良駅長 助岡保三郎、コールダックのK
ちゃん、奈良県立高円芸術高等学校音楽科、
町屋ゲストハウスならまち(安西俊樹)

奈良町見知ル 2023 を終えて

今年三年目となる奈良町見知ル 2023 は、11 月 5 日（月）～ 12 日（日）に無事開催いたしました。2021、2022 同様に多くの人で賑わう正倉院展の最終週にも重なり、今年も約 3,000 人というたくさんの方にご来場いただきました。

奈良町を構成するきたまち、ならまち、高畑、京終・紀寺の各エリアで活動する団体・個人などで構成している実行委員が知恵を出し合い、汗を流した賜物です。本当におつかれさまでした。今年度の開催について振り返ると、特筆すべきことが 2 点あります。ひとつは、これまでの「見ル奈良町：特別公開」「知ル奈良町：特別企画」に、あらたに「巡ル奈良町：（まちあるき）」という柱が加わり、さらにバラエティに富んだ企画を実施できたことです。「巡ル奈良町」については、今年度はエリアごとの企画となりましたが、来年度以降は複数のエリアを巡るものや、奈良町全体を巡るツアーも検討したいと考えています。

もうひとつは、昨年度からスタートしたボランティアスタッフについて。今年度は昨年度も参加の方を含む 9 人の方に活動していただきました。より楽しく活動できるためには奈良町について知ることも必要（これは私も含め実行委員にとっても同じ）ということで、事前に、実行委員や企画参加者も参加 OK の「見学会」を 3 回実施しました。グループ LINE も作り、より気軽に連絡がとれるようにしたことなど、実行委員会として工夫もしました。何よりもボランティアのみなさんが積極的に動いてくださったことに助けられ、また励まされました。ボランティアのみなさん全員に、心からの感謝と、そして「ぜひ来年度もお願いします！」とラブコールを送ります。

もちろん課題もあります。実行委員も企画参加者もボランティアの方もみなさん仕事など本業とのバランスをとりながらの運営となります。もっと効率的に…と思う一方で、奈良町見知ルで経験したことや得たご縁が、関わるみなさんにプラス、ちょっとほっこりできたり、元気をもらえたりすることも含め……になってほしいという気持ちもあります。まだまだこれ、という匙加減を見つけないことができていませんが、今後も、楽しく和やかな雰囲気大切にしながら、よりよい運営スタイルをいっしょに模索していきましょう。

また、長く続けていくための収益を得る方法についても、ぜひみなさんのアイデアをお借りしたいところです。さらに、ほかの地域や団体で開催されている奈良町見知ル的なイベント（生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪：通称イケフェス、京都モダン建築祭など）についての情報収集や相互協力の可能性も探してみたいです。

来年 2024 年度に向け、ますますよいイベントになっていくよう、引き続きよろしく願いいたします。

実行委員長 倉橋みどり

「奈良町見知ル」を、今年も大好評のうちに終えることができました。これもひとえに、開催にあたってご尽力くださった奈良町地域の皆様、またご来場くださった皆様のおかげと深く感謝しております。

奈良市といたしましては、昨年に引き続き、広報と運営支援の役割を担いました。本事業は、新奈良町にぎわい構想における「ならまち・きたまち・京終・高畑エリアが連携したイベントの実施」施策として、また歴史的風致維持向上計画の事業として位置付けており、観光客への魅力発信だけでなく、地域住民の愛着の醸成や地域のまちづくり団体の連携強化による奈良町ファンの増加を目的としています。

今年の「奈良町見知ル」におきましても、企画参加者やボランティアスタッフの皆様、また来場くださった皆様をはじめ、多くの方々の間に様々な交流や絆が生まれたことと思います。奈良町ファンの皆様による交流が大きな流れとなって全体に波及し、これからも奈良町が益々発展していくことを祈念申し上げます。

奈良市観光経済部長
栗山 稔

奈良町見知り 2023年度 事業報告書

2023年12月発行

奈良町見知り実行委員会
奈良市

